

【総合型選抜】

入試制度	募集学科									科目	出題の意図、解答のポイント
	営	ホ	デ	済	法	国	多	現	健		
ホスピタリティAO入試		●								理解力テスト	本年度は、好調な訪日客数の増加、業界の人手不足、待遇改善などのテーマを取り上げた。 出題内容は、空港業界におけるアジアの競争環境の変化、外食業界における人手不足の対策、訪日客数の増加と政府目標達成への課題、ホテル・旅館業界の人手不足を補う新たなサービスの利用、そして、地方創生に関する記事を出題した。 記事の趣旨、内容の正確な把握、図表・グラフの読み取りなどを問う設問を出題している。 入学後に各科目を学ぶための文章読解力、理解力、図表と読む力など、基礎学力の判定に重点をおいている。
ホスピタリティ入試		●								作文	昨年までテーマとしてきた「ホスピタリティ精神」とは何かを今年はやめ、「オーバーツーリズム」に焦点を当てたテーマに変えた。 毎年同じテーマだと、周囲の人間の手が入り、実力を判断できないかも知れないと考えたゆえのことである。 ①基礎的な文章力（誤字・脱字を含む。） ②課題認識力（設問の意図をしっかりと読み取れているか。） ③表現力（読み取った課題について、いかに客観的で説得力のある表現が来ているか。）を問うている。
スポーツ・文化活動入試Ⅰ期	●			●	●	●	●	●		小論文	学校、大学の課外活動において、近年、「不祥事」と呼ぶべき事案がその存続を危うくする事態にまで発展している。 文化、スポーツを含む課外活動におけるフェアプレーの精神を改めて認識させ、具体的に「自分の考え」を考察させることを意図し、作問を行った。 併せて、文章作成能力も評価したい。 フェアプレーの精神を自らの言葉で展開できていること。 答案全体が整合的で矛盾がないこと。 文章の主述関係が正しいこと。 誤字脱字等がないこと。
スポーツ・文化活動入試Ⅱ期										小論文	もともとスポーツや文化活動には、自己鍛錬や健康維持、仲間とのコミュニケーションを通じた成長など、様々な「意義」がありますが、激しい競争、厳しい練習にさらされているうちに、それらの「意義」が見失われてしまう場合も多いため、改めて自分のスポーツ・文化活動の意義について、見つめ直して欲しい、との趣旨で出題しました。 評価にあたって、問題の質問にきちんと答えられているかどうかに加え、大学入学にあたって最低限必要な文章作成能力があるかなどがポイントとなる。

【募集学科】「営」…経営学科 「ホ」…ホスピタリティ・マネジメント学科 「デ」…データサイエンス学科 「済」…経済学科 「法」…法律学科  
「国」…国際関係学科 「多」…多文化コミュニケーション学科 「現」…現代社会学科 「健」…健康スポーツ科学科

【一般選抜】

入試制度	募集学科										科目	出題の意図
	営	ホ	テ	済	法	国	多	現	健			
全学統一入試：前期	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	国語	一、齋田清一『「聴く」ことのコラー臨床哲学試論』から出題した。基本的な読解力を問う試験である。 問（一）～問（四）の空欄補充は比較的平易な問題。 問（五）～問（七）はやや難。問（八）～問（十）も平易の部類に入るだろう。問（十一）は、全文を読み直しじっくり考えれば正答に至るはず。 二、基礎的な国語力、語彙力を問う大問である。 問（一）は、漢字の読み書きを問うもの。問（二）は前後の文脈をふまえた語句の空欄補充。 問（三）は四字熟語の知識を問うもの。
											英語	高等学校で習得される基本的英語運用能力を判定することが目的に作成された問題である。 語彙、文法、イディオム、対話表現、文章の内容把握など、総合的な英語力を問う問題であり、基本的なものを中心に出题している。
一般入試（学科別）【2教科型】 〔2月3日〕			●								数学	各大問において、（1）は基礎的な設問とし、徐々に難易度をあげていき、最後の設問は、難問としてある。
											英語	本入試問題は、高校までに学ぶ英語の基礎的な語彙力、文法の知識、会話の流れを理解する力、英文の読解力を測ることを目的に作成されている。
一般入試（学科別）【3教科型／ベスト2】 〔2月3日〕		●	●								国語	一、古田亮『日本画とは何だったのか—近代日本画史論』による。 問一、二は、文脈をふまえた空欄補充、問三は整序、問四は、欠文の補充、問五～八は本文各所の理解を問うもの。問九は、本文全体の理解を問う。 二、基礎的な国語力を問う試験である。 問（一）は、漢字・熟語力を、問（二）は前後の文脈を把握する力を、問（三）は、ことわざ・慣用語・故事成語などの力を問うている。
								●			選択科目	「日本史探究」 大問1 【時代】通時代問題、【テーマ】日本の世界遺産、世界の記憶 大問2 【時代】古代・中世、【テーマ】荘園の歴史 大問3 【時代】近世、【テーマ】近世の政治体制 大問4 【時代】近現代、【テーマ】日中関係から出題をした。 「世界史探究」 大問1 宗教の歴史 大問2 経済・貿易の歴史 大問3 中央ユーラシアの歴史 大問4 国際秩序の形成と変容から出題した。 「政治・経済」 大問1 【政治】2025年は被爆80年 大問2 【経済】日本経済史と経済成長 大問3 【政治】地方自治 大問4 【経済】貿易政策と地域的経済統合から出題した。 「数学Ⅰ、数学A」 大問1 【数学Ⅰ】数と式、方程式・不等式、三角比、図形と計量 大問2 【数学Ⅰ】2次関数 大問3 【数学A】場合の数と確立 大問4 【数学Ⅰ】データの分析から出題した。

【一般選抜】

入試制度	募集学科										科目	出題の意図
	営	ホ	テ	済	法	国	多	現	健			
一般入試（学科別）【3教科型／ベスト2】 〔2月4日〕											英語	語彙、文法、イディオム、対話、長文理解など総合的な英語力を問う問題である。
											国語	一、中村達『私が諸島である カリブ海思想入門』からの出題。問（一）、（二）は、本文の文脈を踏まえての語句の空欄補充、問（三）（四）（五）（七）は本文の内容の適切な把握を確かめるもの。問（六）は漢字問題、問（八）は、語順整序問題、問（九）は、本文全体の内容に関する問題である。比較的平易な長文の文章読解力や基礎的な語句の知識を問うている。 二、基礎的な国語力を問う試験。問（一）は、漢字力、問（二）は、文の前後の文脈を理解する力、問（三）は、慣用句・故事成語・ことわざを問うている。
		●				●	●					選択科目

【一般選抜】

入試制度	募集学科										科目	出題の意図
	営	ホ	テ	済	法	国	多	現	健			
一般入試（学科別）【3教科型／ベスト2】 〔2月5日〕											英語	高等学校で学習する基本的な英語の知識並びに運用力を判定することを目的として作成された問題である。語彙、文法、イディオム、対話表現、文章の内容把握など、総合的な英語力を問う問題であり、基本的なものを中心にしている。
											国語	一、渡邊雅子『論理的思考とは何か』より出題。問（一）は、漢字力・語彙力を問う。問（二）は、文脈に沿っての短文の空欄補充、問（四）は、文脈把握の力を問うもの。問（五）は、語順整序問題、問（六）は、語句の空欄補充問題、問（三）（七）（八）は、文章の趣旨を問うもの、問（九）は、語順整序問題、問（九）は、本文の内容全体に関わる問題である。 二、基礎的な日本語力を問う大問である。問（一）は、字句の空欄補充、問（二）は、短めの文章をもとに、文脈に沿って語句を空欄補充する問題。問（三）は、慣用表現・四字熟語などの意味を問うもの。問（四）は、四字熟語の空欄補充。
				●			●				●	選択科目
全学統一入試：中期	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	国語	一、早尾貴紀『パレスチナ、イスラエル、そして日本のわたしたち』からの出題。問（一）は、文中の語句の適切な漢字を問う、問（二）は、文脈に即しての表現の空欄補充である。問（三）（四）（六）（八）は、本文の内容理解についてたずねる設問。問（五）は、本文内容を踏まえての表現を選ぶ、問（七）は、文中の語句の意味をたずねる、問（九）は本文全体の内容把握を問う。 二、基本的な国語力を問う試験である。問（一）は、漢字の読み書き、問（二）は、文脈をふまえた空欄補充。問（三）は、四字熟語の知識を問うもの。
											英語	高等学校で習得される基本的な英語運用能力を判定することを目的に作成された問題である。

【一般選抜】

入試制度	募集学科										科目	出題の意図
	営	ホ	デ	済	法	国	多	現	健			
一般入試（学科別）：DS後期			●								数学	数学Ⅰ・A・Ⅱの各分野について、教科書の基本問題から章末問題レベルの問題までを出題した。各大問において、(1)は教科書レベルの問題であり、正答していることが望ましい。一方、各大問の最後の問題は正答できなくても、データサイエンス学科の学習を始めるにあたって大きな問題はない。
											英語	基本的な語彙・文法・語法を問う問題に加え、二つの英文の意味がほぼ同じになるよう空欄に適切な語を補う問題、対話文の内容を理解して空欄に入る表現を選択する問題、ならびに読解問題を出題した。読解問題は二種類とし、一つは文脈を踏まえて空所に適切な語を選ぶ問題、もう一つは文章全体の内容理解を問う問題である。いずれの問題も、基本的な語彙および構文を用いた英文で構成されており、やや難易度の高い語については注を付した。
全学統一入試：後期	●	●		●	●	●	●	●	●	●	国語	一、菅野稔人『暴力と富と資本主義』からの出題。問(一)は、漢字問題、問(二)は、語句の空欄補充、問(三)(五)(六)(八)は、本文の内容理解を問うもの、問(四)は、文脈に沿った短文補充、問(七)は、整序問題、問(九)は本文全体の要旨を問うものである。問題文の本文自体は、平易なものであり、基礎的な読解力、国語力を問うものである。二、基本的な漢字能力、語彙力、文脈把握力などを問う。問(一)は、漢字の読み書きを問う、問(二)池上哲司『傍らにあること 老いと介護の倫理学』を素材文として用いた。問(三)は、慣用的な表現の意味を問う。

【募集学科】「営」…経営学科 「ホ」…ホスピタリティ・マネジメント学科 「デ」…データサイエンス学科 「済」…経済学科 「法」…法律学科

「国」…国際関係学科 「多」…多文化コミュニケーション学科 「現」…現代社会学科 「健」…健康スポーツ科学科

【外国人留学生入試】

入試制度	募集学科										科目	出題の意図、解答ポイント
	営	ホ	デ	済	法	国	多	現	健			
外国人留学生入試A方式	●			●	●	●	●	●			日本語	本試験は、日本語能力試験N2相当の語彙および文型をもとに作成した試験です。 N2レベルは、大学の講義を理解し、レポートを書くといった大学での学習に対応できる最低限のレベルであり、本試験はそのレベルの日本語力を確認する意図で出題されています。
外国人留学生入試A方式											英語	60分という短い時間での試験のため、問題数の制約もあり、本試験のみで大学レベルの英語教育に必要な英語運用能力の正確な判定は困難であるが、本来あるべきレベルの大学英語教育についていけるか、という観点から作成した。
外国人留学生入試B方式	●	●		●	●	●	●	●			英語	語彙、文法、イディオム、対話表現、文章の内容把握など、総合的な英語力を問う問題であり、基本的なものを中心に出题している。

【募集学科】「営」…経営学科 「ホ」…ホスピタリティ・マネジメント学科 「デ」…データサイエンス学科 「済」…経済学科 「法」…法律学科  
「国」…国際関係学科 「多」…多文化コミュニケーション学科 「現」…現代社会学科 「健」…健康スポーツ科学科

【編入学試験】

入試制度	学科・学年	科目	出題の意図、解答ポイント
編入学試験	経営2年次	小論文	<p>本年の世界経済・日本経済の最大のトピックの1つである「トランプ関税」について、ニュース等で少しでも触れていて、考えたことがあるか、またそれにより、経済・社会の動向に関心があるかを確認する問題である。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>-関税のメリット</li> <li>・自国製品の保護、関税収入など（50点）</li> <li>-関税のデメリット</li> <li>・物価の上昇、自国産業の弱体化、貿易摩擦の発生など（50点）</li> </ul>
編入学試験	経営3年次	小論文	<p>本年の世界経済・日本経済の最大のトピックの1つである「トランプ関税」を題材に日頃からの程度、経済・経営関連のニュースに触れており、また、そのニュースがもたらす影響について、どの程度考える力があるかを確認する問題である。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>-採点基準</li> <li>・輸出の減少による企業業種の悪化、関税の避けるためのアメリカ現地産業の拡大、景気が悪化することによるGDPの押し上げ、それによる円安ドル高の進展、株価の下落などの項目について、どれか1つを選択できてきているか（30点）。</li> <li>その内容を詳しく説明できているか（70点）。</li> </ul>
編入学試験	経済3年次	小論文	<p>この問題は、これからの経済学を学ぶにあたって必要となる実証的な考え方が備わっているかを見るものです。計量経済学での因果推論の知識は求めておらず、与えられた問題に対して実証的な、すなわち伝達可能で比較可能な何らかの工夫を実現可能な形で提示できれば及第点です。編入学試験であることから、大学初年次程度の統計学の知識を用いた回答が望ましいでしょう。</p>
編入学試験	法2年次	専門基礎	<p>「法治主義」の定義は、法で治める主義であり、一見「法の支配」と同様に理解され得る。しかしながら、前者は、国民の基本的な人権の保障を重視して行政権が法律の制度の下で行動することを求めるなど議会による行政統制を行うことを指し、後者は、rule of lawすなわち人でなく、法が支配するという概念であり、この点について意味が異なる。もろとも、両者の異同については様々な見解があるものをそれを大きく二分すると、国家の統治方法が実定法（法律）によるという合法性を重視する形式的・手続的理解に重点が置かれるのが前者であり、法の内容自体が民主主義や人権保障を含んだ良い統治を体現しなければならぬとする実質的理解に重点が置かれるのが後者である。本問は、上記の理解のもとで実質的な意味での「法」と形式面での「法律」の異同及び「法」あるいは「法律」による統治についての基本的な理解を問うものである。上記の理解が概ねできていれば、合格の水準を満たしているものとする。</p>
編入学試験	国際関係・多文化3年次	小論文	<p>近年の国際関係や多文化共生をめぐる様々な問題のうちにソーシャルメディアを中心とする情報の操作や攪乱、誤った情報の拡散による状況の激しい変動が見られることから、情報の発信者と受信者の双方の視点をもって現代社会の課題に向き合う視野の広さ、膨大な情報のファクトをチェックしながら論理的に解釈し、判断していく柔軟な思考力を問う意図をもって出題した。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 自身の関心を具体的な事例から明快に論じているか</li> <li>2. 視野の広さや論理的思考力が読み取れるか</li> <li>3. 情報の発信者と受信者の双方の視点が盛り込まれているかを採点基準とする。</li> </ol> <p>70/100を合格水準とし、視野の広さや思考力に潜在的な可能性があるかと判断される場合、65点まで考慮の対象とする。</p>